

東建パブリニュース

2021年12月28日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2021年12月27日 中部経済新聞 P. 1

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

「刀剣博物館」来年開業へ

東建コーポレーションは、飲食店も同時開業へ

土地活用を手掛ける東建コーポレーション（本社名古屋）は、2022年をめどに、名古屋市中区のビル「栄タワーヒルズ」北館に刀剣博物館を開業する。運営は同社が設立した一般財団法人「刀剣ワールド財団」。昨年に開業予定だったが、コロナ禍で延期。開業時期は未定だった。漫画「鬼滅の刃」効果で、刀剣に関心を寄せる若者を取り込む。直結する本館2階に

飲食店を設け、博物館と同時開業する計画。博物館の名称は「名古屋 歴史的に貴重な刀も所有する」

「名古屋刀剣ワールド」

ことから、後世に伝えようと博物館設立を決めた。延べ床面積は約2千平方メートル。7階建てで、1階をミュージアムショップ、2、4階を展示室、5階を資料室、6階を学習室、7階を屋上庭園とする。

このほど、ミュージアムショップで扱う模造刀やオリジナル商品の先行販売を開始した。子会社ナストラック（本社名古屋）が運営する通販サイト「ハートマークショップ」で購入できる。

名古屋刀剣ワールドには、所有する刀約500本のうち、常時約200本を展示する。日本最大級の展示数だという。目玉は、織田信長の弟・有楽斎（うらくさい）が所持していたとされる国宝「有楽来国光（うらくらいくにみつ）」。

刀のほか、甲冑（かっちゅう）や浮世絵も展示する。入場料は一般が千円。学生やシニア料金、団体割引なども用意する。

本館2階に設ける飲食店の名称は「有楽」。自社で運営し、同グループでゴルフ場の飲食店を運営するノウハウを生かす。席数は約40席。和カフェとして、甘味や軽食、ランチを提供する。担当者は「ただ見るだけでなく、実際に触ったりと体験もできる。重要文化財もあり、貴重な伝統資料を後世に伝えていきたい」と話している。



来年をめどに開業する「名古屋刀剣ワールド」

以上